2012.7.20 (金)

18:00 ~ 19:30 環境総合館 1 階レクチャーホール

窪田由紀

名古屋大学教育発達科学研究科教授 減災連携研究センター兼任教員







我が国では、災害、事件・事故後の心理的ケアは阪神淡路大震災以後徐々に注目されるようになりました。 しかしながら、予防段階<防災・減災の取り組み>において心理学は十分な役割を果たしているとは言えない状況にあります。 本講では、災害、事件・事故後の心理的反応とケアの概要を確認した上で、

危機が生じた際の心理的なダメージを少しでも減ずるための取り組みく心理学での危機への備え>について、 リラクゼーション体験も含めながらお話しようと思います。

> 主催:名古屋大学減災連携研究センター/災害対策室 ★お問い合わせ:名古屋大学減災連携研究センター TEL: (052) 789-3468